

とうきょう

すくわくプログラム

帝京幼稚園では、とうきょうすくわくプログラムに参加しています。

昨年度は iPad を導入し、体操の時間に組体操やボールの投げ方、縄跳びの仕方等、体操の先生の説明を聞いたり見本を見たりしながらまずは取り組み、その後活動の記録映像を見ながら振り返りを行いました。

年長組



手を伸ばすと
綺麗に見えるね!

すると…「(組体操では)手をもっと伸ばすといいんじゃないかな」「(縄跳びの時に)横に跳んでしまっている!」と、子どもたちから声が挙がりました。振り返り時に大人が言葉で改めて説明せずとも、子どもたちの気づきや記録を見た後の言葉のやり

取りで内容が深まり、子ども自身も「僕が気付いたんだ」「自分でわかったよ！」
と自信に繋がる様子が見受けられます。

年中組



手を
お皿にして
キャッチしたら
良いんだね



年少組



上に
投げた方が
良いみたい!



今後も、iPad を活用しながら子どもたちの気づきを大切にしていきたいと思います。

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

帝京幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動遊び

<テーマの設定理由>

就学後5月の1年生の体力テストにおいて殆どの種目で東京都の平均値より低いことが分かった。当園では、週1回、外部講師による体育カリキュラムを実施している。幼児期より体を動かすことを楽しみ、いろいろな運動に興味関心を持ち、自ら挑戦し、達成する喜びを経験し体力向上を目指す。

2. 活動スケジュール

9月	3歳児：かけっこ・お遊戯	4歳児：パラバルーン	5歳児：組体操・リレー
10月	3歳児：かけっこ・お遊戯	4歳児：パラバルーン・短縄	5歳児：組体操・リレー・ボール運動・鉄棒
11月	3歳児：短縄・長縄	4歳児：鉄棒・長縄・ボール運動	5歳児：鉄棒・長縄・短縄
12月	3歳児：鉄棒・長縄・ボール運動	4歳児：短縄	5歳児：鉄棒・長縄・ボール運動

3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ・子ども達が、のびのびと体を動かせるように、基本的に園庭を使用して行った。iPad 等を用意し、子ども達の様子を映像や写真で記録する環境を整えた。
- ・運動講師の話聞き、動きを見て、真似をして取り組む姿が見られた。
- ・記録した動画や写真をその場や振り返りの際にすぐに見せることで、「縄跳びの時には足は閉じるかな、開くかな」「閉じて跳ぶ」や、「横に跳ぶのではなく、上に跳ぶと縄が足の下を通っていくよ」「えっ！本当だね」等のやり取りが生まれた。
- ・保育者に出来たことを褒められると、嬉しそうにする姿が見られた。また、褒められることに喜びを感じ、意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・保育者は、子どもが諦めずに何度も繰り返し取り組む姿を十分に認め、褒めることで、自信を持って取り組めるように配慮した。
- ・苦手意識から途中で諦めてしまう姿も見られたが、映像を見せてポイントをアドバイスすることで、自分で改善点に気づき、あるいは友達からもアドバイスを受け、再び挑戦しようとする意欲に繋げることができた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保育者や運動講師の、言葉での指導では理解が難しかった子どもも、その場ですぐ動画や写真を見てから再び行うことで、体の動かし方を意識しようとする姿や、前向きに取り組んでみようとする姿が見られた。また子ども達の眩きから、保育者が気づいていなかった苦手な部分や、指導の改善点を見つけるきっかけとすることができた。

子ども達の様子を写した映像や画像は、言葉での説明を補足するだけでなく、子ども達に気づきを生み、同時に子ども達の生の声を拾うことで保育者にも気づきを与え、良い教材となって活動の充実に繋がった。